



新しい年新たな気持ちでまちづくり



常陸大宮市長
矢数 浩

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、市政全般にわたり、温かいご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、常陸大宮市は、緑豊かな自然環境に恵まれ、それぞれの地域の先人たちが築き上げたすばらしい歴史と文化のもとで発展してまいりましたが、今、本格的な人口減少・超高齢社会の到来、核家族化の進行、社会構造の複雑化、グローバル化の進展などにより、本市を取り巻く環境も大きく変化しております。また、地方での経済状況が大変厳しい中で三位一体の改革が進められており、特に、中山間地域である当地域は財政状況も厳しい状況が続いております。

このような中で、当市においては、平成19年度から平成28年度までの10か年にわたる常陸大宮市総合計画を定め、将来像の「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」の実現に向けて、「健やかで笑顔の暮らしを育むまち」、「さわやかで美しい

快適なまち」、「大いなる交流と発展を支え促すまち」、「豊かで想像的な地域活力を育むまち」、「のびやかな人・文化を育むまち」、「みんなの手作りで築くまち」の6つのまちづくりの柱を基本として、昨年7月に開院した常陸大宮済生会病院を核とする、保健・福祉・医療の連携システム構築等の福祉施策をはじめ、市の面積の約60%を占める森林に対する林業振興対策、宮の郷工業団地への積極的な企業誘致等の商工業対策、さらには、都市基盤や農業基盤、教育環境の整備などを積極的に推進し、地域の活性化を図り、人口の定着や都市住民との交流拡大につなげて参りたいと考えております。

本市の誇りでもある豊かな自然を守り活かしながら、地域の個性・魅力が一体となった、誰もが安心・快適に暮らすことができる活力あるまちづくりを、市民の方々と行政が手を取り合って進めていく所存でございます。

今後とも皆様のなご一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして新春のごあいさついたします。

新年



常陸大宮市議会議長
駒田 強

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、議会解散を求める直接請求が矢継ぎ早になされ、各議会とも住民の厳しい審判をまともに受ける結果となりました。わが常陸大宮市議会も、新たに誕生した26名の議員は、かつてない一連の経緯を深刻に受け止め、根本的反省のもと決意も新たに全力で議員活動に邁進しております。

市では、総合計画を策定し、今後10か年にわたるまちづくりが本格的に始動します。安倍内閣に引き継がれた三位一体改革や、さらなる地方分権の推進などの制度改革で求められる地方の自立、急速な少子高齢化や景気の低迷など、誠に厳しい条件のもとでスタートしなければならぬ「まちづくり」の前途は、必ずしも容易ではありません。

議会では、昨年12月、第4回定例会において「行財政改革調査特別委員会」を設置し、市がすでに取り組

んでいる行財政改革を、議会の立場から住民の目線でチェックし促進を図ります。改革のスピードアップによる、簡素で効率的な行政体制の早期確立と財政基盤の強化は「まちづくり」のためにはもとより、自立と生き残りをかけた地域間競争に打ち勝つために不可欠からです。

昨年10月には、総務省に「頑張る地方応援室」が開設されました。自ら考え、前向きに取り組む自治体に対する支援措置も用意されております。常陸大宮市が頑張る自治体であることを示すためにも、議会は行政課題をしっかりと把握し、その解決に向けて知恵を絞る、今ほど議会が真価を問われている時はないとの認識を共有し、みんなで汗をかく覚悟です。常陸大宮市の未来はその向こうに必ず拓けてくると信じ、共に頑張ります。

皆様にとって、幸多い年になるようご祈念申し上げますとともに、議会に対し絶大なご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

市民行政議会 みんなで拓く市の未来

輝く未来へ 力強く羽ばたけ！

「成人の日」は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日です。

常陸大宮市でも、624人（男322人、女302人）の方が今年成人を迎えました。

成人することにより、選挙権などさまざまな社会人としての権利を得ると同時に、社会的な義務も負い、自立した責任ある行動が求められるようになります。

今年成人された皆さんが、大人としての自覚を持ちつつ、常に夢や希望を忘れずに社会の中に力強く羽ばたいていってくださることを期待しています。

祝成人

常陸大宮市の平成19年成人式が、1月6日、市文化センターで行われ、520人が参加しました。

式典では「代表者あいさつ」や「はたちの主張」が述べられ、それぞれ、この日を迎えられた感謝と将来への意気込みが語られました。

また、アトラクションとして実行委員会主催による抽選会が行われ、市長をはじめとする来賓の方が引いた当選番号が発表されるたびに会場から歓声があがり、和気あいあいとした雰囲気になりました。

当日は、あいにくの雨模様となっていましたでしたが、仲間と共にこの日を迎えられる喜びに、成人した皆さんの顔は明るく、輝きにあふれていました。



▲代表あいさつをする三次康仁さん



▲はたちの主張を述べる小林将宏さん(左)と桑名祐香さん(右)

